

コレステロールを巡る Controversy

柏市立介護老人保健施設はみんぐ施設長

多田 紀夫

Norio Tada

Author

Key Words

コレステロール摂取

血清コレステロール値

LDL-C

ASCVD (粥状動脈硬化性心血管病)

脂質異常症診療ガイドライン

背景

コレステロール摂取制限が血清総コレステロールやLDLコレステロール (LDL-C) を低下させる効果があることを示す十分なエビデンスが得られていないこと、さらに、これまでのエビデンスからは到達目標としてのLDL-C設定値の有用性は明らかでないという米国発の2つのガイドラインの発表¹⁾以来、コレステロール摂取制限について、その妥当性を説く日本動脈硬化学会からの再三の声明²⁾にも関わらず、解釈に混乱が生じている。そして、こうしたことに乗じて一部のこころないマスコミ、あるいはサークルによって流

布される中途半端な指摘事項は臨床の場における受益者側の混乱を招くきっかけとなる。

現在、話題になっているコレステロールを巡る controversy は2つの要素に整理される。その1つはコレステロール摂取制限に関する controversy であり、もう1つは高コレステロール血症の治療方針を巡る controversy である。国民を疾病から守り、その健康を維持する観点から、あらためて「コレステロール摂取」、そして「高コレステロール血症治療」についてのそれぞれの意義を整理する。